自家用車中心中規模都市

近未来技術を活用した未来創造都市　（大分県　大分市）

【大分市】

◆地域の課題

- 人手不足や高年齢化で地域公共交通の減便・路線廃止へ
- 人口減少や自家用車への依存による輸送需要の減少等の状況が厳しい一方、高齢運転者の免許返納による移動手段の確保が必要

☑ 複数移動手段活用時の利便性
☑ 公共交通・道路の混雑
☐ ラストマイルの移動手段不足
☑ 高齢者等の移動弱者の増加

METI「新しいモビリティサービスの活性化に向けて」より引用

◆将来構想の概要

- 自動走行を活用し、持続可能な地域公共交通網を実現
- そのため、主要文化交流施設や商業施設等を結ぶルートで実証運行を行うことで、地域の特色を活かしたモデル事業として構築し、将来的には、市内各地域への横展開を図る
（→観光客や地域住民の市内回遊促進）

◆実証実験の概要

- 中心市街地循環バスの自動運転化にむけて、技術実証（バス停留所の正着制御・混在交通への影響等）やサービス向上（運行ダイヤの確認・運行頻度の増加等）、採算性等を検討

☐ カーシェア
☐ デマンド交通
☐ マルチモーダルサービス
☑ 自動走行車の活用
☐ 貨客混載
☐ ラストマイル配送無人化
☐ 移動サービスと周辺サービスの連携

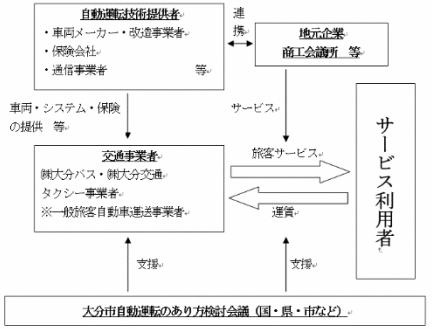
METI「『IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会』中間整理」より引用

◆対象地域

- 実証実験は大分市内が対象。中心市街地循環バス「大分きゃんバス」運行ルートにて実施予定
- 本実証実験をもとに大分市域内での横展開を図るモデル事業を構築

◆サービスモデル

- 自動運転バスの導入により、運行頻度や移動ニーズの観点で利便性を向上し、地域経済の発展を図る。利用者の運賃収入と行政からの支援によって運行予定。



NRI Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.